

1. プラン策定の背景・目的

■全国的な課題

- 人口減少や少子高齢化の進展、自家用車の普及、新型コロナウイルス感染症等の影響による公共交通利用者の減少が加速化

■地方の課題

- 都市部への進出等による人口減少が顕著で、都市部に比べて地域公共交通の確保・維持は困難な状況

■法制度の状況

- 「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の一部を改正され、すべての地方公共団体において地域公共交通計画の策定が努力義務

■市の課題

- 公共交通の利用者数の減少、運転手や整備士などの担い手不足、車両の老朽化、燃油価格の高騰など

以上の背景を踏まえ、持続可能な公共交通体系の構築に向けて「深川市地域公共交通計画」を策定する

2. 計画の位置づけ

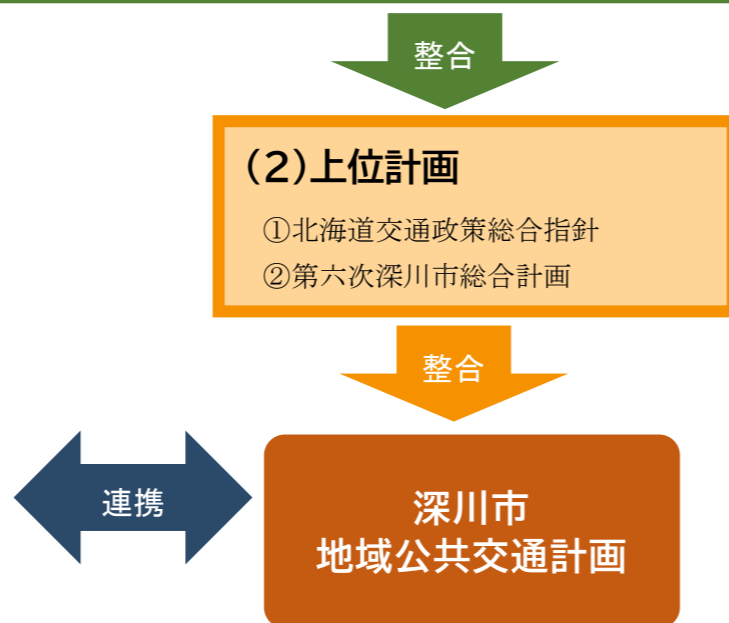
国・北海道の公共交通に係る法令や指針の他、第六次深川市総合計画を上位計画とするとともに、深川市まち・ひと・しごと創生総合戦略等の関連計画と連携するものである。

(1)関連法令

- 交通政策基本法
- 第2次交通政策基本計画
- 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律

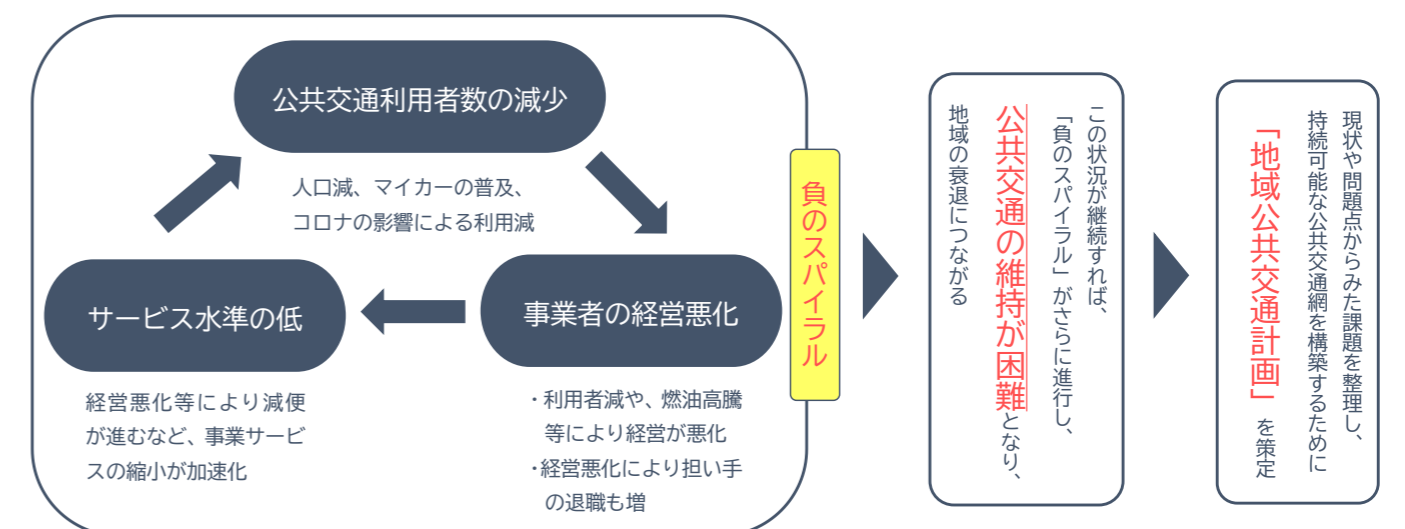
(3)関連計画

- 第2期深川市まち・ひと・しごと
- 深川市過疎地域持続的
- 第2深川市都市計画マスタープラン
- 深川市立地適正化計画
- 北空知定住自立圏共生ビジョン
- 北空知4町地域公共交通計画
- 中空知地域公共交通計画
- 北海道上川地域公共交通計画
- 北海道留萌管内地域公共交通計画など



3. 地域公共交通の課題等整理

項目	課題
人口（共通事項）	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の確保・維持が必要 人口カバー率の維持が必要
市内交通（共通事項）	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通利用全体の底上げが必要 交通事業者と連携を図り、輸送人数に対応した多様な輸送手段を検討が必要 乗り継ぎ負担の軽減が必要
路線バス（市内）	<ul style="list-style-type: none"> 循環線、多度志線、西北星線 ○路線の最適化の検討が必要 ニーズを踏まえた改善への取り組みの継続的な推進が必要 需要の減少に対応する運行方式の検討が必要 需要の掘り起こしが必要 など
デマンド交通	<ul style="list-style-type: none"> 納内経由菊丘線 稼働率や乗合率の向上が必要 利用実績に即したサービスとなるよう適宜見直しが必要
路線バス（広域）	<ul style="list-style-type: none"> 滝深線、深滝線、深旭線 持続可能な交通体系について検討が必要 地域間幹線系統補助金を活用した路線の維持・確保が必要
	<ul style="list-style-type: none"> 沼田線 JR留萌本線廃線に伴う代替交通としての役割が想定されるため、バス路線の確保維持及び輸送能力の確保が必要
	<ul style="list-style-type: none"> 留萌旭川線 JR留萌本線廃線に伴う代替交通として位置づけられているため、バス路線の確保維持及び輸送能力の確保が必要 地域間幹線系統補助金を活用した路線の維持・確保が必要
	<ul style="list-style-type: none"> 深名線 利用促進が必要



4. 基本理念と基本方針

**基本方針①
広域公共交通の確保維持**

地域間幹線系統を安定的、持続的、効率的に確保するために複数の市町村が連携しながら確保維持に努めます。

**基本方針②
まちづくりと連携したきめ細かな公共交通網の構築**

立地適正化計画などの関連計画との整合・連携によりコンパクトシティ・プラス・ネットワークの実現を図るために、市内路線バスを確保・維持しながら、運行の最適化や多様な輸送手段の検討に努めます。

**基本方針③
利用促進の強化による公共交通の活性化**

現状の利用状況では、公共交通を持続的に維持していくことは困難となることが予想されます。将来にわたって、本市に公共交通を残していくためには、市や公共交通事業者の取り組みだけでは限界があることから、市民のみなさんが自分ごととして考えてもらえるような周知・啓発を行うなど利用促進に努めます。

基本理念

地域の暮らしをみんなで支える、持続可能な公共交通サービスの確保維持

(1) 広域公共交通計画との整合・連携		
幹線交通	・ JR 函館本線は他公共交通機関と連携した利用促進	北海道 沿線自治体 交通事業者
広域交通	・ 高速るもい号は他公共交通機関と連携した利用促進 ・ 留萌旭川線、深旭線、深滝線（雨竜経由）、滝深線（音江経由）、沼田線、深名線の確保	

(1) 市内路線バスの運行維持		
路線の最適化の検討	・ バス路線の最適化、車両の小型化、停留所のアクセス性向上、収益性を踏まえた運行時間帯の検討など	深川市 市内交通事業者
(2) デマンド交通「納内経由菊丘線」の確保維持		
運行区域内の生活動線の確保	・ 乗合率や収益率の減少に伴う運行内容の検討・見直しなど	深川市 市内交通事業者
(3) 多様な交通手段の検討		
公共交通人口カバー率の維持など	・ 車両のサイズダウン、デマンド交通、既存スクールバスへの一般混乗など	深川市 市内交通事業者
(4) AI を用いたオンデマンド交通の研究・検討		
潜在需要の掘り起こしなど	・ AI を活用した効率的な配車により、利用予約に対するリアルタイムの最適配車を行うシステム ・ 「便数」、「わかりやすいバスルート」への不満解消が期待	深川市 市内交通事業者
(5) 深川駅周辺複合施設整備事業の推進		
複合施設整備	・ 中央公民館機能とバスターミナル機能を併せ持つ複合施設の整備検討	深川市

(1) 高齢者バス利用料金助成事業による利用促進		
高齢者バス利用料金助成制度	・ 市内在住 70 歳以上の方を対象とした割安料金乗車ができる事業を引き続き実施	深川市
(2) バスの乗り方教室の実施		
身近に感じる環境づくり	・ 公共交通に慣れ親しむ機会の提供を継続	深川市
(3) 公共交通利用促進を目的とした周知・啓発		
周知・啓発・情報発信	・ 市 HP や広報誌等を活用した利用促進 ・ 路線バス等の運行ダイヤの変更に伴う情報発信	深川市